

## 歴史(平安時代④・武士の登場編)

10世紀になると、武士という身分が生まれ、やがて家来をまとめて  
①\_\_\_\_\_をつくるほどに成長していた。①\_\_\_\_\_の有名な反乱に  
935年の②\_\_\_\_\_の乱や939年の③\_\_\_\_\_の乱がある。

①\_\_\_\_\_の中でも、天皇の子孫である④\_\_\_\_\_と⑤\_\_\_\_\_が有力だった。

11世紀に起こった東北地方の大きな戦乱をしずめた⑥\_\_\_\_\_が  
東日本に勢力を広げ、12世紀前半には⑤\_\_\_\_\_が西日本に勢力をのぼした。  
都では、藤原氏と関係のうすい後三条天皇が位につき、次の  
⑦\_\_\_\_\_天皇は退位して⑧\_\_\_\_\_になってからも政治(⑨\_\_\_\_\_)を行った。

また、1156年の⑩\_\_\_\_\_の乱で⑪\_\_\_\_\_と⑫\_\_\_\_\_が活躍し、  
1159年の⑬\_\_\_\_\_の乱で⑪\_\_\_\_\_が⑫\_\_\_\_\_を破り、勢力を広げ、  
⑭\_\_\_\_\_という最高の官職についた。